

「自主的取組に関する国際シンポジウム」

産業界の自主的取組の評価と今後の温暖化対策の方向性 —自主行動計画の成果と低炭素社会実行計画の役割—

(日英同時通訳)

開催趣旨

1997 年度から産業界において取り組まれてきた自主行動計画は、京都議定書第一約束期間の終了とともに、2012 年度に終了した。同計画は、2008 年に改定された京都議定書目標達成計画において「産業界における対策の中心的役割を果たしている」との評価がなされている。しかしながら、フォローアップの仕組みをはじめとして段階的に発展してきたこと等の理由から、長期的に取り組まれ、公的に位置づけられてきたにも関わらず、国内外で学術的に十分な研究・議論がなされてきたとは言えない。

そこで、2012 年度をもって自主行動計画が終了したことを踏まえ、「自主行動計画の総括的な評価に係る検討会」が開催された。同検討会では、企業の国内事業活動における排出抑制を主とした自主行動計画について、これまでの取組みを総括的に評価するとともに、今後の産業界の取り組みである低炭素社会実行計画の実効性を向上させるための提言がとりまとめられた。

本シンポジウムは、こうした自主的取組に関する総括的な評価や検討会の提言について国内外に発信し、わが国における自主的取組みの有効性への理解を促進するとともに、今後の自主的取組のあり方について検討することを目的として開催する。なお、本シンポジウムを通して、産業界の自主的取組の効果と課題が国内外の関係者により共有されるとともに、自主的取り組みの有効性を更に高める取り組みや活用範囲の拡大が促進されることを通じて、日本の地球温暖化対策の実効性向上に貢献することが期待される。

開催日時・場所

日 時： 2014 年 9 月 2 日（火）午後 1 時～午後 5 時

会 場： 経団連会館（東京都千代田区大手町）

主 催： 経済産業省、日本経済団体連合会、日本エネルギー経済研究所

後 援： 環境省（予定）